

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人間発達学		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
深沢 淳子	405	junko.fukasawa	時間割決定後に記載予定。		
授業の目的・概要	人体構造機能学と関連させて、人間の生殖と発達・加齢について学ぶ。人間を、受精に始まり成長・発達・加齢・個体死に至る時間軸を持つ生活者として捉え、一連の過程を形態的・生理的变化や心理・社会的変化の特徴とそれらに影響する要因について理解する。生涯を通じて各発達段階における発達課題、家族としての発達、社会の一員としての発達も踏まえて人間を理解することを目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	身体面の発達については人体構造機能学Ⅱと関連付けて学習する。				
教科書	生涯人間発達論 第3版/著:服部祥子/医学書院/2020				
参考書	ライフサイクル、その完結/著:E.H.エリクソン/訳:村瀬孝雄、近藤邦夫/みすず書房/2001				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	各発達段階の課題・役割・危機について説明することができる。		HSU(1)(3)、NS(1)(3)		
②	人間の発達を生涯発達として捉え、対象理解に応用することができる。		HSU(1)(3)、NS(1)(3)		
③	人間の発達の多様性について考えることができる。		HSU(1)(3)、NS(1)(3)		
④	自分の生涯発達を考えることができる。		HSU(1)(3)、NS(1)(3)		
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	乳児期の発達について学習する。	講義	教科書の「序」(2～16 ページ)、「I」(18～34 ページ)を読む。	1	
2	幼児前期の発達について学習する。	講義	教科書の「II」(36～51 ページ)を読む。	1	
3	幼児後期の発達について学習する。	講義	教科書の「III」(54～70 ページ)を読む。	1	
4	学童期の発達について学習する。	講義	教科書の「IV」(72～85 ページ)を読む。	1	
5	思春期の発達について学習する。	講義	教科書の「V」(88～101 ページ)を読む。	1	
6	青年期の発達について学習する。	講義	教科書の「VI」(104～118 ページ)を読む。	1	
7	成人前期の発達について学習する。	講義	教科書の「VII」(120～132 ページ)を読む。	1	
8	成人中期の発達について学習する。	講義	教科書の「VIII」(134～150 ページ)を読む。	1	
9	成熟期・更年期の発達について学習する。	講義	教科書の「IX」(152～167 ページ)を読む。	1	
10	成人後期(老年期)の発達について学習する。	講義	教科書の「X」(170～185 ページ)、「終章」(188～196 ページ)を読む。	1	
11	自らのライフプランニングについて考える。	講義	配布資料を読む。	1	
12	生涯発達に影響を与える因子(病気)について学習する。	講義	配布資料を読む。	1	
13	生涯発達に影響を与える因子(しょうがい)について学習する。	講義	配布資料を読む。	1	
14	生涯発達に影響を与える因子(身近な人の病気やしょうがい、死亡)について学習する。	講義	配布資料を読む。	1	
15	生涯発達に影響を与える因子(社会、時代など)について学習する。	講義	配布資料を読む。	1	
試	試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	30	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	50	10	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	10	10	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。試験では、授業の内容に基づく問題を出題し、知識を問う。				試験の講評・解説を提示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	課題に対する内容の適切性、知識、思考する力、発表・表現伝達する力を問う。				添削し返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		授業に参加する姿勢・態度について10%とする。レポートの提出期限の厳守、出席状況を成績に反映させる。				授業の調和に支障を与えたり、不適切な姿勢・態度が見られた場合は、それによって授業が円滑に行えないことを指摘し指導を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験	担当教員は病院などの看護師として20年以上の経験を有し、臨床発達心理士の資格を有する。						
実践的授業の内容	看護職として様々な発達段階の対象者に関わった実践経験を踏まえながら、各発達段階の特徴や課題・役割獲得・危機などについて講義を進め、知識の修得を目指す。						
そ の 他	学習状況により、学習内容の順番を変更する。その場合は、紙面で説明する。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めない。新型コロナウイルス感染症の状況などにより、対面授業から遠隔授業に変更となる可能性もある。その場合は Teams を使用するため、授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって、シラバスの変更の可能性はある。						